



小松ウォール工業株式会社 | 東証プライム 7949

2027年3月期第1四半期 決算補足資料

2026年7月27日

■ 2027年3月期1Q 決算概要	----- 3
■ 2027年3月期 業績予想	----- 7

2027年3月期1Q実績

- オフィス向けが引き続き好調に推移、文化施設向けも増収、ホテルなど宿泊施設向けも回復し、売上高は前年同期比3.8%増収
- 製品ミックスや前期に行った価格改定効果により原材料価格上昇を吸収し、売上総利益率が引き続き上昇、営業利益は同36.2%増益
- 受注残はオフィスや文化施設向けが引き続き増加、宿泊施設向けも回復。品目別でも固定間仕切を除き増加し、全体でも9.3%増加

2027年3月期予想

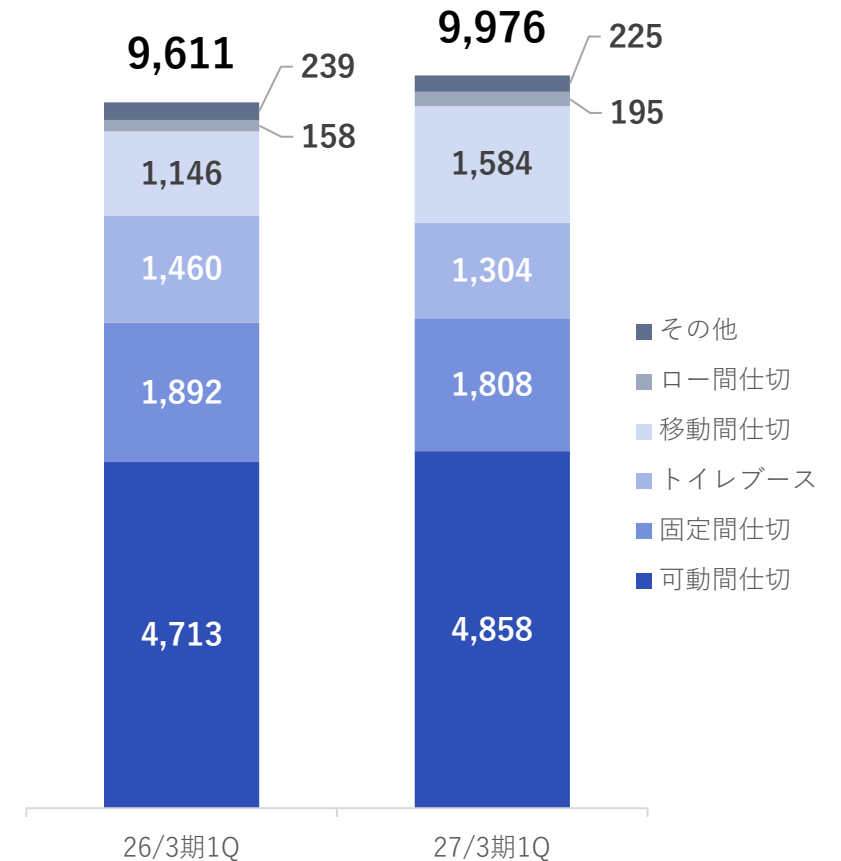
- 期初予想継続。2027年3月期の売上高は4.0%増収予想。27年6月末の受注残も増加しており、オフィス向け可動間仕切や移動間仕切の堅調な推移を予想
- 営業利益は3.9%増益予想。人材投資に伴う人件費や材料費の上昇を見込むが、増収効果により吸収し増益を予想

株主還元

- 2026年3月期に配当方針を純資産配当率（DOE）3%から6%目安に変更
- 同方針に基づき、26年3月期は前期比倍増の130円、27年3月期も135円配当を予想

売上高

(百万円)



2027年3月期第1四半期 決算補足説明

2027年3月期1Q 決算概要

- オフィス向けが引き続き好調に推移、文化施設向けも増収、ホテルなど宿泊施設向けも回復し、売上高は前年同期比3.8%増収
- 製品ミックスや前期に行った価格改定効果により原材料価格上昇を吸収し、売上総利益率が引き続き上昇、営業利益は同36.2%増益

単位：百万円	2025年3月期1Q		2026年3月期1Q		2027年3月期1Q		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比増減率
売上高	9,186	100.0%	9,611	100.0%	9,976	100.0%	3.8%
売上総利益	3,078	33.5%	3,339	34.7%	3,510	35.2%	5.1%
販管費	2,853	31.1%	3,032	31.5%	3,092	31.0%	2.0%
営業利益	224	2.4%	306	3.2%	418	4.2%	36.2%
経常利益	236	2.6%	321	3.3%	439	4.4%	36.6%
当期純利益	157	1.7%	216	2.2%	267	2.7%	23.5%
1株当たり当期純利益	8円42銭*	—	12円31銭	—	15円18銭	—	23.3%

* 2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割。1株当たり当期純利益の算出は分割後の株数で遡及修正

品目別売上高、受注高及び受注残高

- 旺盛なオフィスの移転やリニューアル需要を背景に、主力の可動間仕切が引き続き堅調に推移。また、移動間仕切はオフィス向けで好調に推移したほか、大規模改修や建て替え需要を捉えた文化施設向けも伸長。一方で、トイレブースは新築ビルや工場向け等が減少
- 受注残はオフィスや文化施設向けが引き続き増加、宿泊施設向けも回復。品目別でも固定間仕切を除き増加し、全体でも9.3%増加

単位：百万円	2026年3月期1Q	2027年3月期1Q					
	売上高	売上高	前年同期比 増減率	受注高	前年同期比 増減率	受注残高	前年同期比 増減率
合 計	9,611	9,976	3.8%	13,512	6.5%	24,022	9.3%
└ 可 動 間 仕 切	4,713	4,858	3.1%	6,391	14.8%	7,292	18.9%
└ 固 定 間 仕 切	1,892	1,808	△4.4%	2,445	△3.8%	5,904	△5.8%
└ トイレブース	1,460	1,304	△10.6%	2,189	△6.9%	4,667	7.7%
└ 移 動 間 仕 切	1,146	1,584	38.2%	1,870	3.9%	5,491	14.0%
└ ロ ー 間 仕 切	158	195	22.8%	206	18.1%	112	10.7%
└ そ の 他	239	225	△5.8%	410	58.0%	554	71.5%

貸借対照表

■ 売上高の季節性により、6月末は3月末比で売上債権が減少する一方、回収により現預金が増加。ROE向上に向けて配当の支払増加等により純資産は減少したが、自己資本比率は81.0%と引き続き高い財務安全性を維持

単位：百万円	2025年3月期末	2026年3月期末	2027年3月期1Q末	前期末差
流動資産	31,322	27,189	26,044	△1,145
現預金	16,714	12,245	13,892	1,647
売上債権・契約資産	13,231	13,370	10,384	△2,986
棚卸資産	1,117	1,278	1,501	223
固定資産	15,433	21,414	21,334	△80
有形固定資産	12,260	18,142	18,163	21
無形固定資産	415	431	439	8
投資その他の資産	2,757	2,840	2,731	△109
総資産	46,756	48,603	47,378	△1,225
負債	8,965	9,367	9,006	△361
買掛金	2,323	2,423	1,989	△434
有利子負債	0	0	0	0
純資産	37,790	39,236	38,371	△865
負債純資産合計	46,756	48,603	47,378	△1,225

2027年3月期第1四半期 決算補足説明

2027年3月期 業績予想

業績予想



- 期初予想を継続。2027年3月期の売上高は4.0%増収予想。26年6月末の受注残も増加しており、可動間仕切や移動間仕切の堅調な推移を予想
- 営業利益は3.9%増益予想。人材投資に伴う人件費や材料費の上昇を見込むが、増収効果により吸収し増益を予想
- 2025年4月に配当方針を純資産配当率（DOE）3%から6%目安に変更しており、27年3月期の配当も前期比5円増配の135円を計画

単位：百万円			2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期 通期予想		前期比 増減率
売	上	高	44,616	100.0%	46,725	100.0%	48,600	100.0%	4.0%
営	業	利 益	3,635	8.1%	4,099	8.8%	4,260	8.8%	3.9%
経	常	利 益	3,756	8.4%	4,150	8.9%	4,310	8.9%	3.8%
当	期	純 利 益	2,650	5.9%	3,048	6.5%	3,050	6.3%	0.0%
1 当	株 期	当 純 利 益	145円64銭*		173円32銭		173円39銭		0.0%
1 配	株	当 当 金	65円00銭*		130円00銭		135円00銭		3.8%

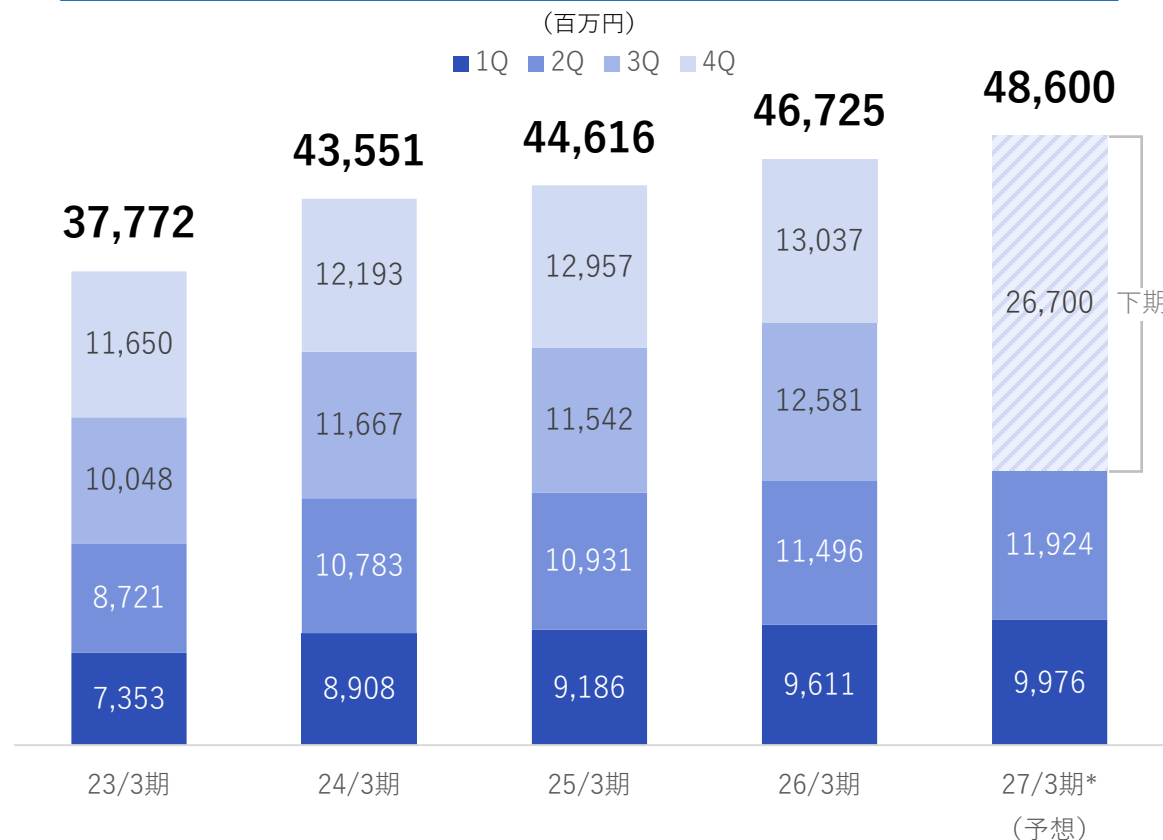
* 2024年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割。1株当たり当期純利益と1株当たり配当金の算出は分割後の株数で遡及修正

四半期業績推移

■ 2027年3月期1Qはオフィスや文化施設向けも増収、ホテルなど宿泊施設向けも回復し、売上高は前年同期比3.8%増収

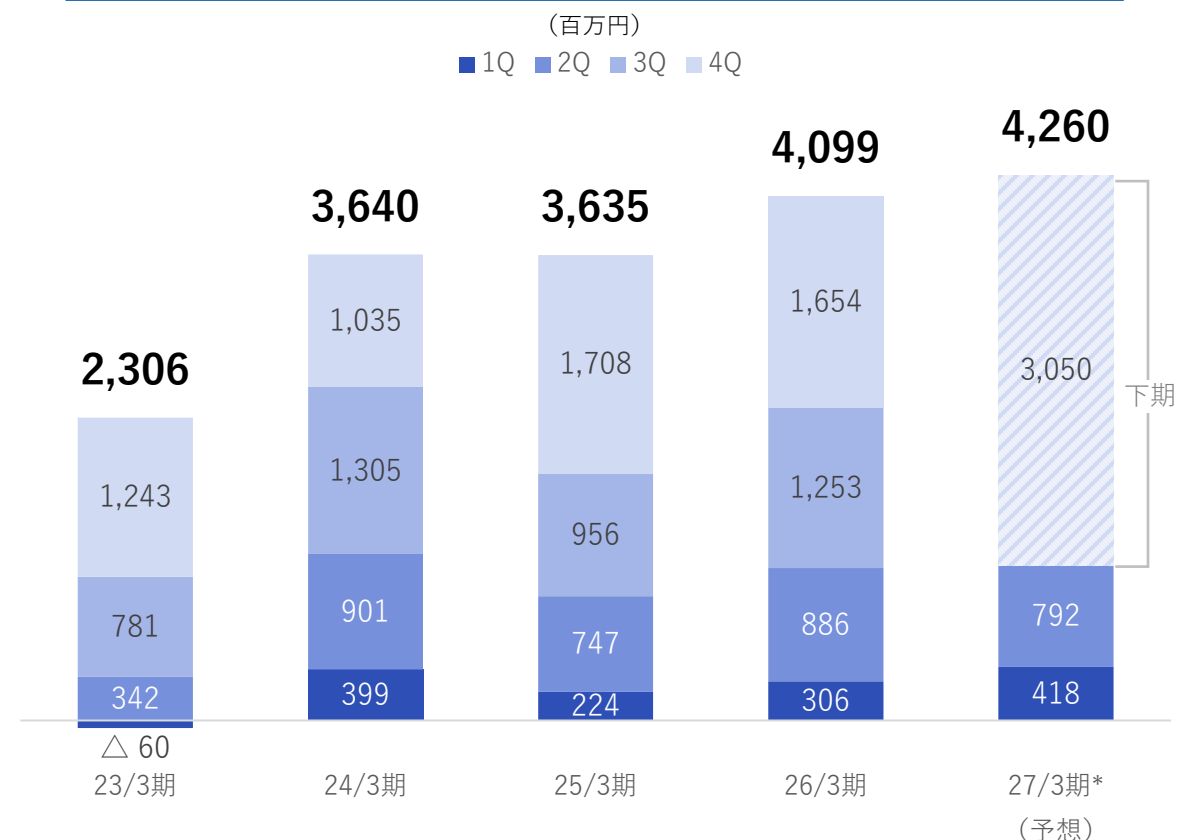
■ 製品ミックスや価格改定効果で原材料価格上昇を吸収し売上総利益率が前年同期比0.5ポイント上昇、営業利益は同36.2%増益

四半期売上高



* 27/3期2Q累計と通期は当社業績予想値

四半期営業利益

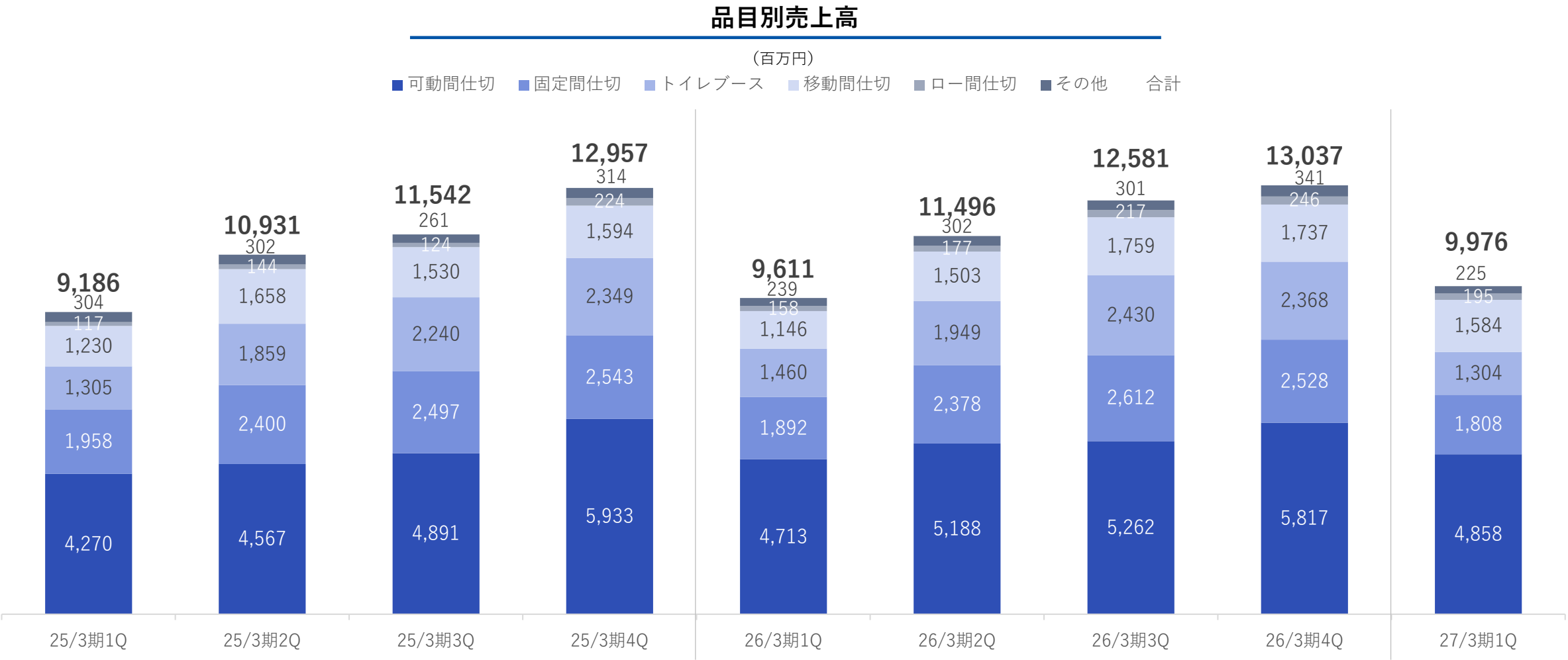


* 27/3期2Q累計と通期は当社業績予想値

四半期品目別売上高推移



■ 2027年3月期1Qは前年同期比で、可動間仕切はオフィス向けが引き続き堅調、移動間仕切もオフィスや文化施設向けが好調、一方で、トイレブースは新築ビルや工場向け等が減少

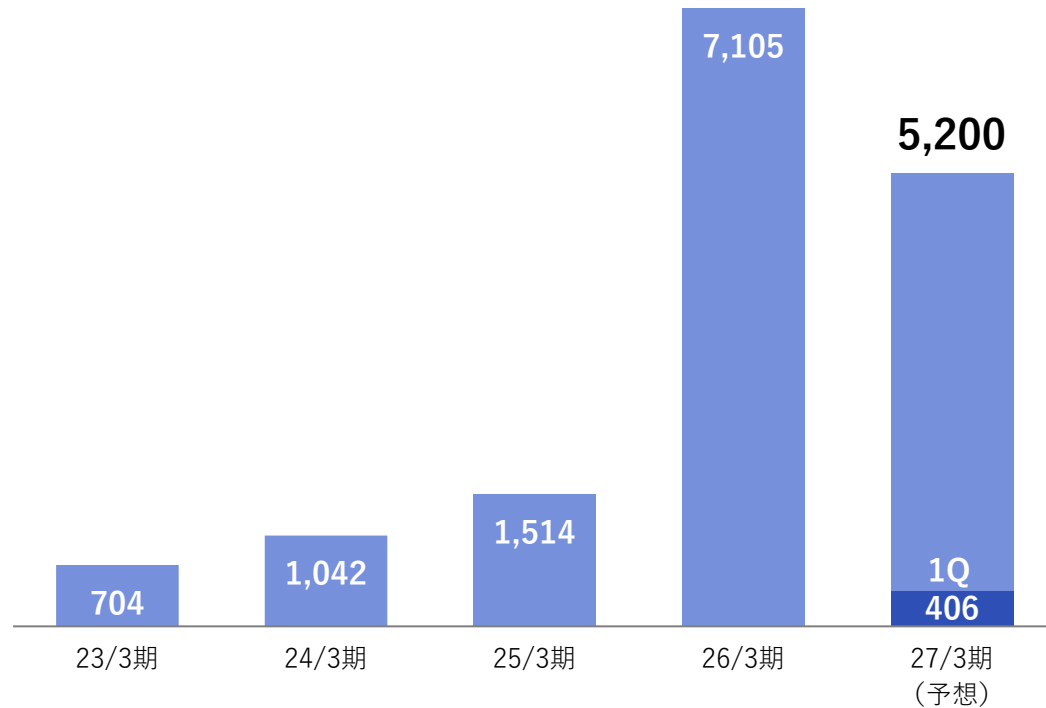


設備投資、減価償却費

- 2027年3月期1Qは4億円の設備投資を実施、大阪や名古屋の物流倉庫の移転や改修、設備の維持更新等
- 27年3月期通期は52億円の設備投資を計画、加賀工場2号棟関連39億円や維持更新投資等

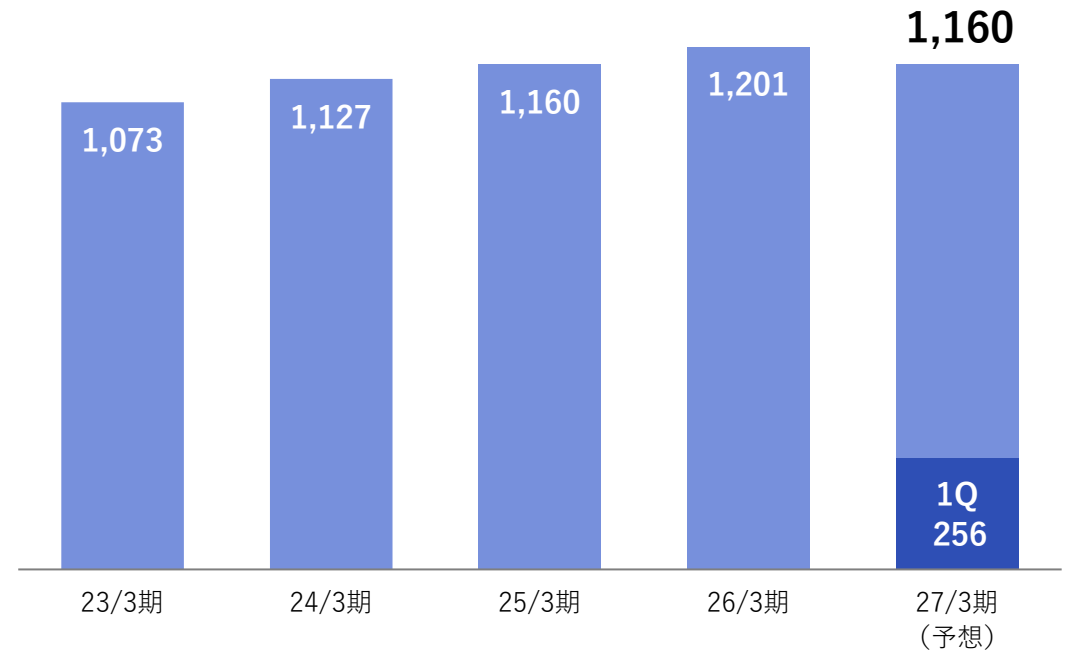
設備投資

(百万円)



減価償却費

(百万円)



設備投資 加賀工場2号棟（仮称）

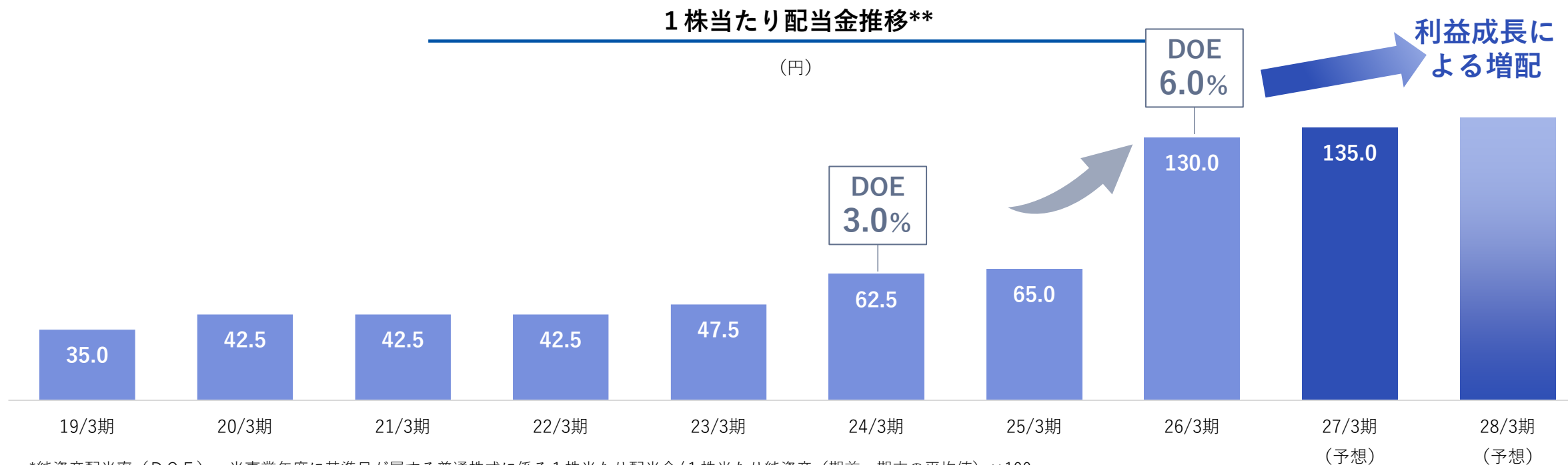
- 2024年4月に加賀工場2号棟（新棟）の建設を公表、第三工場の可動間仕切の一部の生産ラインを移管し、生産能力を増強
- 2027年5月の操業開始に向けて、2026年秋から工場建屋に製造設備を設置予定
- 中期経営計画期間中（2024年3月期～28年3月期）の設備投資は150億円以上を計画

名	称	加賀工場2号棟（仮称）
主 業	事業	可動間仕切の製造 研究開発
投資	金額	約95億円
建築	面積	約19,000m ²
延床	面積	約19,700m ²
建設	開始年月	2025年5月
操業	開始年月	2027年5月予定



- 2026年3月期から株主還元方針を変更し、純資産配当率（DOE）6%を目安とした配当へ引き上げ
- 上記方針に基づき、2027年3月期も前期比5円増配の135円を予想（期初予想継続）

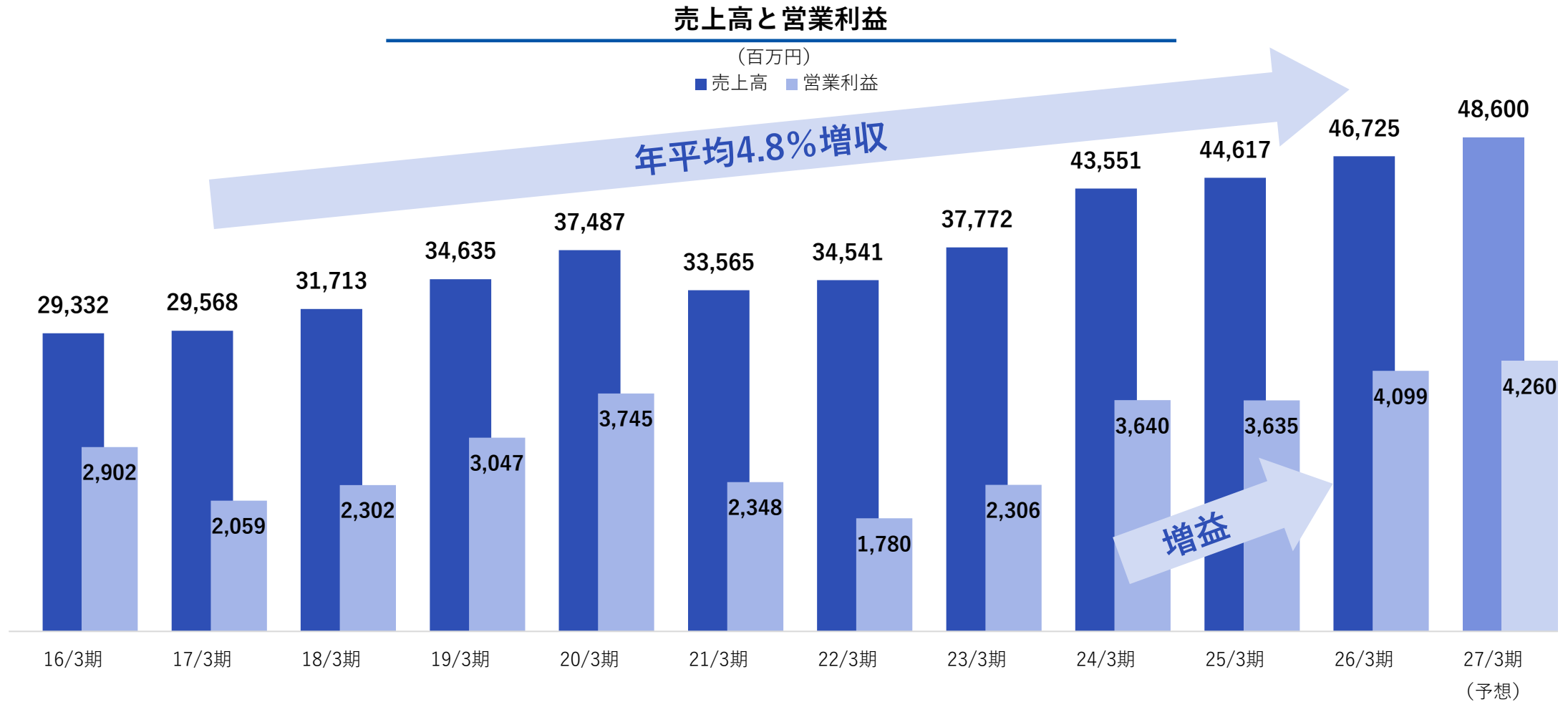
純資産配当率*（DOE）6%を目安とした配当を実施
持続的な成長も実現し、配当水準の安定的向上を目指す



*純資産配当率（DOE）＝当事業年度に基準日が属する普通株式に係る1株当たり配当金/1株当たり純資産（期首・期末の平均値）×100

**2024年10月1日付で1：2の株式分割を実施。過年度の配当金は株式分割後の株数での配当金に遡及修正

■ オフィス向け中心に間仕切需要拡大に伴い、売上高は2026年3月期まで過去10年間で年平均4.8%増収。売上高・営業利益とも過去最高





小松ウォール工業株式会社 | 東証プライム 7949

お問合せ先

小松ウォール工業株式会社
社長室

TEL 0761-21-3131(代表)

https://www.komatsuwall.co.jp/form/form.php?form_id=201

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。